フィニッシュ(個人戦術・グループ戦術)

・ゴールを奪う確率を上げるために、オンザボールの技術を上げることに加え、
シュートを打てる状況・よりシュートが入りやすい状況に持っていくために必要な
オフザボール時の動き方・考え方も習得する。

フィニッシュ(個人戦術)のキーファクター

グループ	No.	キーファクター	留意点
⓪	0	守備の三原則	①ボールとゴールの中心(またはマークする相手)を結んだ線上に立つ。 ②ボールとマークする相手を同一視野に入れる。 ③相手にプレッシャーをかけつつ突破されない距離をとる。
①	1	攻撃の優先順位	ゴール(シュート)→ラストパス→ラストパスを出せる選手へのパス→自分でチャンスを作るまたはチャンスを作れる選手へのパス→作り直し→ゴールキックになる・相手陣地深くで失うの順に選択する。 カウンターにつながるボールの失い方は必ず避ける。 シュートが入りやすいエリア・入りづらいエリアを理解する。(「ビエルサライン」を知る)
	2	プレーの優先順位	動く速さは①ボール②ボールを持っていない選手③ボールを持っている選手の順なので、速いものから優先的に選択する。
	3	周りを観る	常に周囲の状況を把握し、適切なプレーを選択できるようにする。
	4	味方・相手のいない場所でボールを持つ	味方とポジショニングが重ならないようにする。 フリーになれるスペースがどこにあるかを常に探す。
	5	ボールを持つ前に次のプレーを考える	1つ1つのプレー・判断を早く・速く・正確に行う。 どこにボールを欲しいのかを言語・非言語で出し手に伝える。 思い通りのプレーができなかった時の選択肢を用意しておく。 背後の状況を正しく認知する(首を振る)。 プレーの直前でも判断を変えられるようにする。
	6	体の向き・ポジショニング	前(相手ゴール方向)を向いてボールを受けられるようにする。 パスを受ける前にボール保持者とゴールを同一視野で見られるようにする。 シュートを打つ足の方のポスト(右足でシュートなら右ポスト、左足ならその逆)に向かってシュートが打てる体勢をとり、体の向きを変えずに左右に蹴り分けられるようにする。

フィニッシュ(個人戦術)のキーファクター

グループ	No.	キーファクター	留意点
②	7	ミドル・アタッキングサードの意識	ボールを失うリスクを冒してよい場所であることを認識する。 シュート・ラストパス・ドリブル突破をより強く意識してプレーする。
	8	「突破のドリブル」を仕掛けるべき状況を認知・理解する	「目の前の相手を突破したら決定機・ビッグチャンス」の所で仕掛ける。
	9	ボールに近づく・ボールから遠ざかる判断	パスの質や状況に応じた適切なボールの受け方を選択する。
	10	より状況の良い選手を使う	フリーな選手・前を向いてボールを受けられる選手を使う。
	11	パスを出す前に次のプレーを考える	受け手に何をさせたいのかを考えてパスを出す。 次にどんなプレーをしてもらいたいのかを言語・非言語で受け手に伝える。
③	12	数的同数・優位を作る	ボール保持者を孤立させることなくサポートし、数的優位を作る。それが難しければ少なくとも2vs2の状況を作り、ボール保持者にパスの選択肢も持たせる。
	13	3人目の動き	自分以外の選手に向かってボールが動いている間に動き出す。 相手のバランスを崩すポジションを取る(ボールが来る確率は高くないが、来たらビッグチャンスになるポジションを取る)。
	14	次のプレーを考えて関わり続ける	パスを出した後も関わり続ける。 自分の思うタイミングでパスが来なかった場合、ポジショニングを取り直す。 ボールが自分に来ない位置・状況にあっても無関係にならないようにする。 ※直接ボールが来ない場所にいたり、動かず止まっていたりした方がよい状況もある。
	15	リバウンドやこぼれ球に反応する	自分や味方がシュートを打った後のボールにも予測・反応する。
④	16	動き出しのタイミング	ボール保持者が周りを観ることができ、かつ意図したところにボールを蹴ることができるタイミングで動く。
	17	スルーパスの使い分け	ボール保持者に対する相手の立ち位置によって、縦・斜めのスルーパスを使い分ける。
	18	ダイアゴナルラン	ゴールやチャンスにつながるパスを受けるためのバリエーションを増やす。 斜めに動くことで相手にマークの受け渡しを発生させる。 相手のマークを自分に引き付けることでボール保持者がドリブルするスペースを作る。
	19	ラインブレイク	突破したいラインの裏や上で前向きにボールを受けられるポジショニングを意識する。 直線的な裏抜け・膨らんだ動きからの裏抜け・ダイアゴナルランを使い分ける。 ※最終ラインを突破したいとき、体を前に倒すとオフサイドになりやすいので注意する。
	20	中間ポジションを取る(「位置的優位」を意識する)	相手ディフェンスを引き付ける・ギャップを突く。 横だけでなく縦(ライン間)の中間ポジションも意識する。

フィニッシュ(個人戦術)のキーファクター

グループ	No.	キーファクター	留意点
⑤	21	ラストパスに対するポジショニング	ラストパスとシュート、2本の線によって生まれる角度が狭いほどシュートが打ちやすくなる。 ※パスとシュートのボールの動きがそれぞれ異なることが前提。シュートを打ちたい方向に向かってパスが動いていればシュートは打ちづらくなる。
	22	相手の背中を取る	自分とボールが相手の同一視野に入らないようにすることでマークを外す。
	23	スペースを作る･使う(個人)	ボールを受けたい場所から離れることでマークを引き付けてスペースを作り、本当に受けたいタイミングでそこに入る。 ボールを受けることだけを目的とするのでなく、相手選手を自分に引き付けたり、より相手ゴールに近づくパスが通せるようコースを開けたりする。
	24	予測	ボール保持者の状況(プレッシャーの有無や視線、ボールの置き所、体の向きなど)から、プレーの選択・ボールの長さや強さ・方向を予測する。 ボール保持者が周りを観られる・自由にボールを蹴れる状況にある→受け手主導 ボール保持者が周りを観られない・自由にボールを蹴れる状況にない→出し手主導
⑥	25	「質的優位」のポジションを意識する	ゴールを意識するとともに、誰に(どこに)ボールを入れたらチャンスになる可能性が高いかも頭に入れる。
	26	即興的なプレー・相手が予測できないプレーをする	相手を欺くためのひらめき・アイディアを持つ。
	27	切り替え(守→攻：ポジティブトランジション)	守備時にボールを奪った時のこと(自分がボールを奪った瞬間どこを攻めるか・味方がボールを奪った瞬間どこに動くか)を考えておく。
	28	切り替え(攻→守：ネガティブトランジション)	攻撃時にボールを奪われた時のこと(自分がボールを奪われた瞬間どこを守るか・味方がボールを奪われた瞬間どこに動くか)を考えておく。